



高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

12月定例県議会一般質問



県の施策について質問する高橋祐子県議

安全・安心なふるさとづくりに力を注いでいる高橋祐子県議(富里市選出、1期)は、12月定例県議会で登壇し、熊谷知事ら県執行部に県の施策について質問しました。1時間に50ミリを超える降雨が頻発していることから、高橋県議は洪水防止のため、富里市内を流れる根木名川の浚渫を要望しました。自ら積極的に取り組んでいるカーボンニュートラルでは、県の温室効果ガス削減目標が国の目標を下回っていることに懸念を表明し、県の目指す姿を尋ねました。高橋県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

高橋議員 富里市が位置する根木名川については、千葉県策定の「利根川水系手賀沼・印旛沼・根木名圏域河川整備計画」でも、その流域では、成田空港をは

富里市内の根木名川 堆積土砂の撤去要望

近年は、時間雨量50ミリの整備水準を上回る降雨が、県内の観測回数でも増

加傾向にあることから、河川整備率の向上も必要不可欠な状況となる。そこだろうかすが、根木名川の現在の整備状況はどうか。

県土整備部長 根木名川では、利根川合流点からほたる橋までの約15キロメートルについて、築堤、掘削、護岸工等の河川整備を進めています。整備は下流から進めており、これまでに、利根川合流点から新妻橋までの約6キロメートルで築堤してきたところです。今後も上流部へ向かって

整備を進め、根木名川の治水安全度の向上が図られるよう、河川整備に取り組んでまいります。

高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年富里市議会議員当選
- 平成27年富里市議会議員当選
- 平成31年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員長
- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 生活衛生適正化審議会委員
- 千葉県男女共同参画推進懇話会委員
- 千葉県青少年問題協議会委員

狭小、根木名川の通水断面 河川機能果たさず



堆積土砂の浚渫が必要な根木名川

再質問

高橋議員 根木名川の最上流部は富里市に隣接しており、平成25年の台風26号では、富里地先水田を始め、道路など、あらゆる箇所での冠水被害をもたらし、また、

流末となる根木名川も氾濫し、その傷跡は今も記憶に新しい。根木名川の現状を見ると、私見だが、ほたる橋から志茂橋の3か所で現地を

測ったところ、3か所の平均通水断面は、わずか4.2平方メートルしかなく、富里市の流域面積から見れば、暫定の10年に一度の規模の降雨でも、約30平方メートル前後の断面が必要であると推測する。

平成19年の千葉県策定の河川整備計画では、50年に一度発生する洪水規模の河川整備を行うとしながら

も、実態は10年に一度の規模にも満たしておらず、河川としての機能を果たしていない現状がうかがえる。富里市内の河川整備には、まだまだ時間がかかると思われるが、完了するまでの間、現在の河川の機能を維持するためには、堆積土砂の撤去など、適切な維持管理が大変重要と考える。そこだろうかすが、富里市内の根木名川において、堆積土砂の撤去など、早急に改善を図るべきと思うかどうか。

県土整備部長 富里市内の根木名川においては、令和2年度に寺見橋から志茂橋までの約2200メートルから上流360メートル間で土砂の撤去を実施したところです。残る志茂橋からほたる橋区間についても順次対応してまいります。

高橋議員 富里市内の根木名川について、河川としての機能を十分に果たせるよう、堆積土砂の撤去など、早急な県の対応を強く要望する。

温室効果ガス、国下回る削減目標

問題先送りを懸念

高橋議員 国連環境計画が発表した報告書では、各国が掲げる温室効果ガス削減目標通りに削減しても、今世紀末までに気温が2.8度上昇すると指摘している。そうした中、県は205

0年に向けカーボンニュートラル推進方針及び、2030年度を目標とした「千葉県地球温暖化対策実行計画」の骨子案を示した。それによると、2030年までの温室効果ガスの削減

目標は、国が46%としているのに対し、県の削減目標は40%としているとのことだった。

千葉県には京葉臨海コンテナ埠頭があり、産業部門の削減が厳しいということは十分に理解しているが、厳しい千葉県が国より低い目標を掲げて果たして達成できるのか、問題の先送りにならないか、危惧している。

本県がカーボンニュートラル宣言をしている以上は、

十分理解しているが、厳しい千葉県が国より低い目標を掲げて果たして達成できるのか、問題の先送りにならないか、危惧している。

環境生活部長 中小企業は、大企業と比べて、脱炭素化に取り組んでいる割合が低い傾向にあり、カーボンニュートラルの実現に向けて、中小企業の意識改革や行動変容、そのための支援

地元市町及び県の四者でプランの見直しを行ってまいります。

高橋議員 NAAから「新しい成田空港構想」が出され、成田空港は大きな変革の時を迎えている。

重要なプロジェクトを成し遂げるには、空港圏市町と千葉県の連携強化は極めて重要であり、特に千葉県はキーマンというべき立場であると考えるが、あらためて千葉県の役割をどのように捉えているか。

知事 成田空港の更なる機能強化は、日本の空の表玄関として今後、さらに増大する航空需要を取り込むとともに、空港を核とした地域の発展を図る上でも重要と認識しています。

現在、空港会社では、機能強化をより効果的に実現するため、新しい成田空港構想の策定を進めており、新たな貨物地区の整備や交通アクセスの改善等を指すこととしています。

県としては、こうした空

港の機能強化が、地域の発展との好循環を生み出すよう、地域の取りまどめ役としての役割を、しっかりと果たしてまいります。

高橋議員 速いスピードで成田空港は大きく変わっていく。しかし、一方で、空港圏市町が求める、均衡ある発展の大きな役割を果たす各道路整備等については、その状況が全く見えてこない実情もある。

再質問

新しい成田空港構想・更なる機能強化を図るうえで、骨格だけができてもその効果は半減であり、真の効果は骨格と空港市町とのアクセスの強化があればこそと。

実施プランの成長は、今行うべき時がきている。骨格である事業に遅れることなく推進するためにも、空港圏市町との協議を加速し、早急に見直しを行うべきと

考えるがどうか。

総合企画部長 実施プランは、空港を取り巻く環境の変化に応じて見直しを行うこととしており、新しい成田空港構想の策定という現在行われている大きな動きに合わせたプランの見直しが必要になると考えています。

構想策定の進捗状況を見極めながら、国、空港会社

考えるがどうか。

環境生活部長 中小企業は、大企業と比べて、脱炭素化に取り組んでいる割合が低い傾向にあり、カーボンニュートラルの実現に向けて、中小企業の意識改革や行動変容、そのための支援

地元市町及び県の四者でプランの見直しを行ってまいります。

環境生活部長 都市部においては、生活面を意識し、電気自動車の保有が進んでいない集合住宅での充電設備の普及を進めるとともに、マイカーを持たなくても気軽に活用できるEVカーシェアリングの活用も推進してまいります。

また、郊外では、生活面だけでなく、観光面も意識し、エリアごとに充電設備が設置され、電気自動車

また、郊外では、生活面だけでなく、観光面も意識し、エリアごとに充電設備が設置され、電気自動車

県庁舎への飲料自販機

設置、福祉団体に

前向きな検討を

高橋議員 自動販売機は街中にも多く設置されているが、その中には福祉団体が設置して、売り上げの一部を団体の運営資金にできるようなものがある。

職員の福利厚生や来庁者の利便性を目的として、県庁舎には多くの自動販売機が設置されている。自動販売機の一部でも福祉団体に設置させてもらえれば、団

体の運営費、ひいては団体が行う福祉事業の充実につながるのではないかと考える。

高橋議員 県に設置許可の努力義務が課せられている福祉団体が設置の申し出があれば、前向きに検討していただくよう強く要望する。

高橋議員 県に設置許可の努力義務が課せられている福祉団体が設置の申し出があれば、前向きに検討していただくよう強く要望する。

少なくとも46%、国に合わせるべきで、厳しくとも高い目標を掲げて政策的に誘導するのが本来だと思ふ。

脱炭素化へ中小企業支援

高橋議員 中小企業に対する脱炭素化に向けた普及啓発や支援についてどのよう

が更に重要となってきます。このため、県では今年度中小企業を対象に、計4回の省エネルギーセミナーを通じた普及啓発を行うことも

に、国の交付金を活用した、太陽光発電設備の導入や高効率の空調設備の更新などへの助成を行ったところ。県としては、中小企業の脱炭素化の促進のため、意識改革や行動変容にも繋がるような一層の普及啓発や、新たな支援策について、検討してまいります。

環境生活部長 電気自動車の普及に併せ、自宅以外でも使える充電設備の設置を促進し、充電に対する不安のない環境づくりを進めることは大変重要です。

電気自動車の充電設備

普及促進策を検討

高橋議員 電気自動車や充電設備の普及促進に向けて、どのような方向性で進めていくのか。

環境生活部長 都市部においては、生活面を意識し、電気自動車の保有が進んでいない集合住宅での充電設備の普及を進めるとともに、マイカーを持たなくても気軽に活用できるEVカーシェアリングの活用も推進してまいります。

また、郊外では、生活面だけでなく、観光面も意識し、エリアごとに充電設備が設置され、電気自動車

望み ランの見直しについて、新しい成田空港構想に合わせて見直しが必要、真の効果を生み出すうえで、来年度をその機会と捉え、早急にぜひ来年度にも見直しを行うよう、強く要望する。

望み 高橋議員 県に設置許可の努力義務が課せられている福祉団体が設置の申し出があれば、前向きに検討していただくよう強く要望する。

望み 高橋議員 県に設置許可の努力義務が課せられている福祉団体が設置の申し出があれば、前向きに検討していただくよう強く要望する。

望み 高橋議員 県に設置許可の努力義務が課せられている福祉団体が設置の申し出があれば、前向きに検討していただくよう強く要望する。

●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253